

採血で すい臓がんの検査を 受けてみませんか？



新しいすい臓がん検査について

アポエーツー
〈アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム検査とは〉

APOA2アイソフォームは、すい臓がんの診断補助に用いられる腫瘍マーカーです。

- * 血液中にあるAPOA2というタンパク質には主に3つのタイプ(アイソフォーム)があり、健康な人はそのバランスが一定に保たれています。
- * すい臓がんになると、このバランスが崩れてきます。
- * APOA2アイソフォーム検査は、このバランスを示す指標「APOA2-i Index」を用いて判定を行います。
- * 従来の腫瘍マーカーとは異なる物質を測定するため、これまで検出されなかったすい臓がんを見つけられる可能性があります。



出典：Honda K, et al. PLoS One. 2012; 7: e46908

〈APOA2アイソフォーム検査の結果の見方〉

APOA2-i Indexは、すい臓がんがある場合、基準値を下回る可能性があります。APOA2-i Indexが基準値未満であった方は、受診された医療機関にお問い合わせいただき、精密検査を受けるべきかご相談されることをお勧めします。また、精密検査が必要と判断された場合には、検査する医療機関についてもご相談ください。

注)基準値は医療機関によって異なる可能性がありますので、医療機関にご確認ください。

—APOA2アイソフォーム検査におけるご注意—

- APOA2-i Indexが基準値未満であっても、すい臓がんとは限りません。また、基準値以上であっても、すい臓がんではないとは限りません。
- また、本検査はすい炎などのすい疾患に罹患されている方でも基準値未満となる場合があります。
- そのため、本検査の結果のみですい臓がんの診断はできませんので、必ず他の関連する検査結果や臨床情報などと合わせた医師による総合的な診断を受けてください。





すい臓がんについて

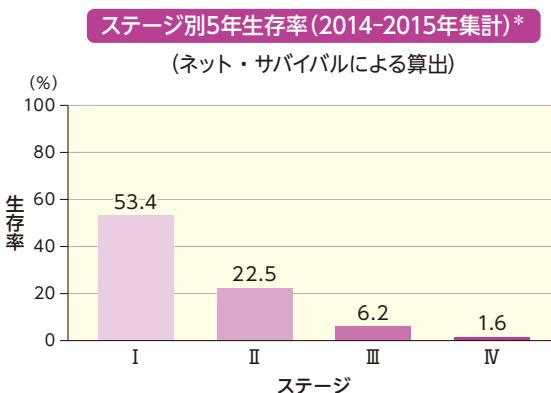
〈すい臓がんの特徴〉

- すい臓がんの多くはすい管に発生し、そのほとんどは腺がんという組織型(がんの種類)です。
- がんが発生しても小さいうちは症状が出にくく、早期の発見は簡単ではありません。進行していくと、腹痛、食欲不振、腹部膨満感(おなかが張る感じ)、黄疸、腰や背中の痛みなどが起こります。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス 一部抜粋

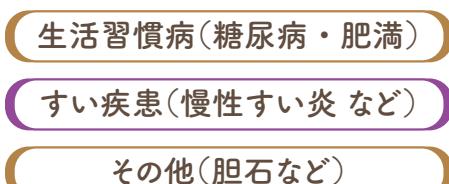
〈すい臓がんの現状〉

すい臓がんの罹患率を年齢別にみると60歳ごろから増加し、高齢になるとほど高くなります。わが国では、年間約4万人*の方がすい臓がんで亡くなっています。一方、早期ステージで発見されるほど5年生存率は高くなります。



* 出典：国立研究センターがん情報サービス がん登録・統計 一部抜粋

〈すい臓がんのリスク因子〉



出典：膵癌診療ガイドライン2022年版 一部抜粋

既存のすい臓がん検査

血液検査

- 血清すい酵素：血清アミラーゼ、リパーゼ、エラスターーゼ1、トリプシンなど
- 腫瘍マーカー：CEA、CA19-9、Dupan-2、Span-1など

画像検査

- 腹部超音波検査(US)
- 造影CT
- 腹部MRI
- 超音波内視鏡(EUS)
- 内視鏡的逆行性胆管すい管造影(ERCP)など

出典：膵癌診療ガイドライン2022年版 一部抜粋

APOA2アイソフォーム検査を希望される方は、医療機関の窓口でお問い合わせください。